

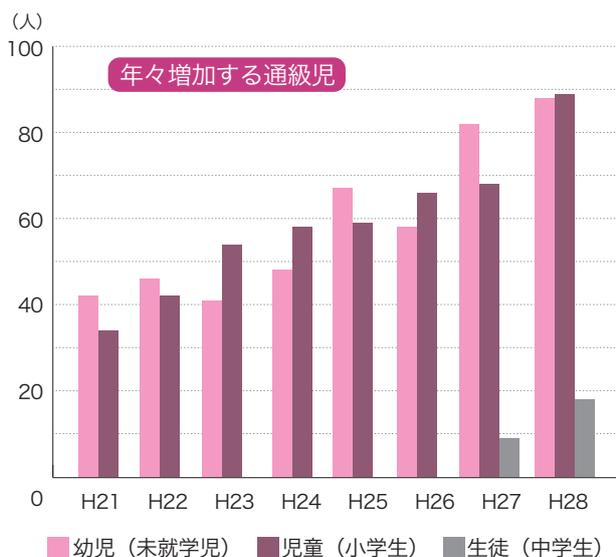
玉村町通級教室の現状と課題を調査



機能的に相談活動ができる環境整備を

委員長 島田 榮一 委員 月田 均
副委員長 三友美恵子 委員 柳沢 浩一
宇津木 治宣

所管事務調査日：平成28年12月12日

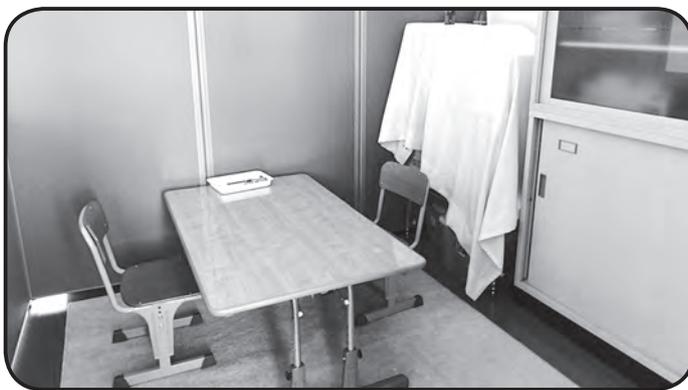


● 通級教室の現状

通級教室は、ことばや行動等で困っている子どもにも適切な指導・訓練を行うための教室である。
通級する子どもは年々増加しており、相談室が足りないため部屋をパーティションで分けたり、直接学校に向いて指導するなどの対応していた。
また、適切な指導や訓練を行うことで、中学校にあがるまでにはかなりの子どもの問題が解消しているとのことであった。

● 抱えている課題

- ・部屋をパーティションで区切って対応しているため、子どもが隣の指導室の声等に反応してしまう。
- ・遊戯療法等で使用するプレイルームが手狭な状況である。
- ・幼児担当が1名増員され3名になったが、対象児が多いため指導時間や指導回数の確保が難しい。
- ・町内に発達検査ができる職員が少なく、通級教室の職員が検査を行っている。



パーティションで区切った相談室



施設面での環境整備が望まれる

まとめ

発達に心配がある、コミュニケーションが上手にとれない、感情を抑えられないという悩みを抱えている子どもが増えてきている。
これらは早期発見、早期対応が重要であり、通級教室が一生懸命取り組んでいる現状が確認できた。
しかし、もっと機能的に子どもの相談活動ができる環境が必要であり、施設面や人材面に対するバックアップが必要だ。
財政が厳しい状況下ではあるが、今後の町の対応を期待したい。